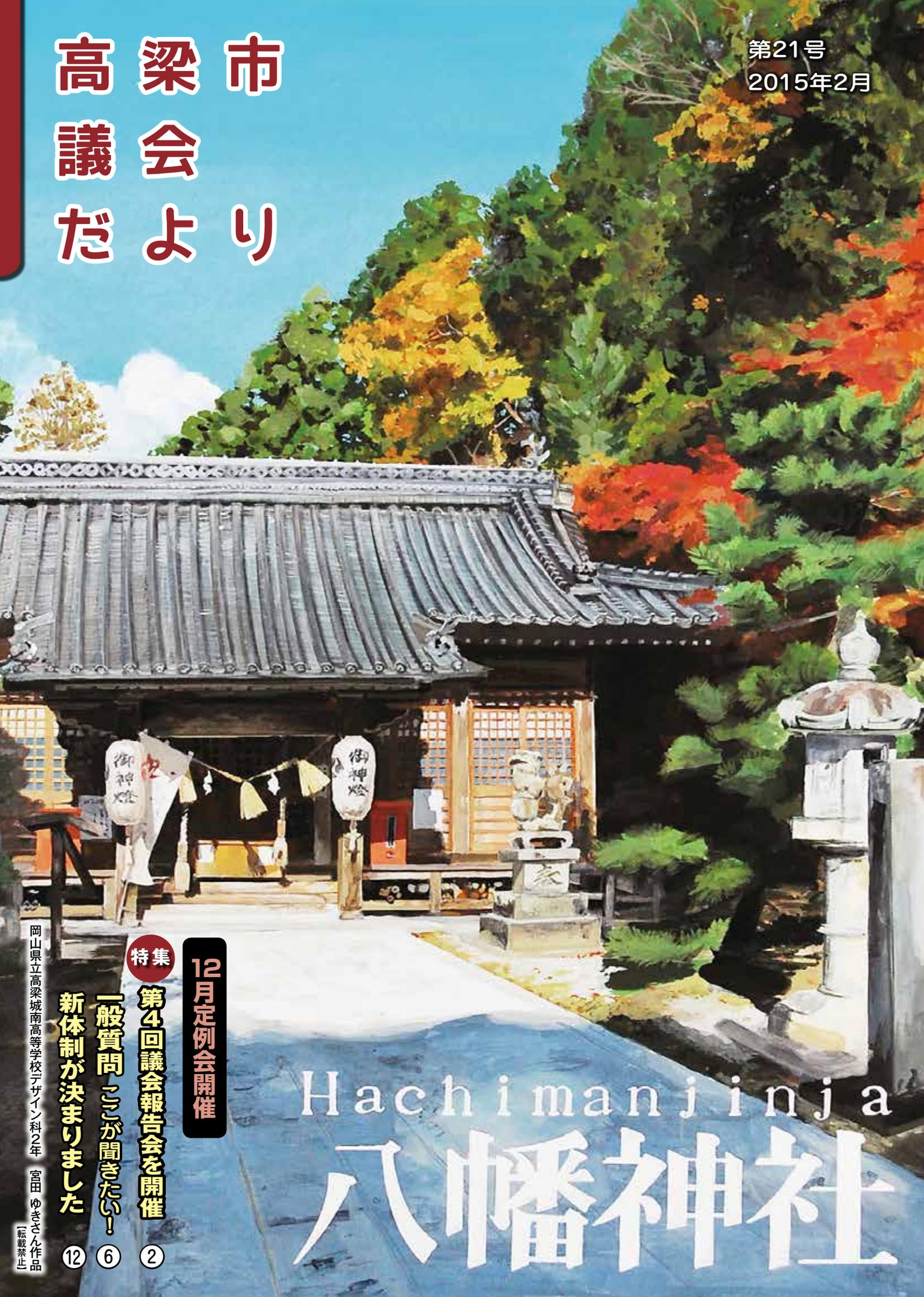


高梁市 議会 だより

第21号
2015年2月



12月定例会開催

特集

第4回議会報告会を開催

一般質問「ここが聞きたい！」

新体制が決まりました

12 ⑥ ②

Hachimanjinja

八幡神社



議会報告会の詳細は公式 HP 内「議会報告会」のページで見ることができます。
<http://www.city.takahashi.okayama.jp/site/gikai/>

次回の議会報告会は 3 月議会終了後に開催予定です

 **参加人数 144人**

20日

巨瀬	巨瀬地域市民センター	53人
松原	松原地域市民センター	9人
高梁	高梁市役所（第一会議室）	7人
中井	中井地域市民センター	11人

21日

備中	備中地域局（大会議室）	6人
川上	川上総合学習センター	9人
有漢	有漢保健センター	20人
成羽	中コミュニティセンター	29人



第4回議会報告会を開催しました

2014年10月20日・21日開催

地域ごとに異なるテーマで話し合い

10月20日、21日の両日に、市内8つの会場で第4回議会報告会と意見交換会を開催しました。報告会では9月議会で話し合われた議題の中から、主に平成25年度の決算についてスライドを使って説明しました。過去の意見交換会では高梁市の重要課題を話し合うことを目的に、議会活性化特別委員会の中で統一したテーマを決めていました。今回からは事前に市民センターなどから地域の抱える問題を何点かに絞って出してもらい、その中から地域ごとに異なるテーマで話し合いをしました。複数の会場でテーマになった鳥獣害対策のほか、災害の避難場所についてや、定住対策など様々な課題について地域の方と意見を交換しました。

開かれた議会を目指して開催を継続

会場によっては参加者が非常に少なかったり、逆にせっかく多くの方に参加いただいたのに上手く会話のキャッチボールができなかったりと、今後の課題も見えてきました。参加者へのアンケートからは、広報の方法を考えてほしい、もっとわかりやすい説明を心がけてほしいという意見もある一方、開かれた議会のために今後も続けてほしいという声も多くいただきました。いただいた意見は議会活性化特別委員会の中で話し合いを重ねて、今後に生かしていきます。

 **参加者アンケートより**

- せっかくの報告会なのでもっと早い時期から周知の機会を作ってほしい。議会に興味を持つきっかけになると思います。
- 有意義なことだと思いますので、大変ですが時間が長くしてほしいです。各地域であってほしいです。空き家増に対する問題視をよろしくお願いいたします。
- 自分のこととして頑張ってください。市民にとって実りある議会になりますように。
- 要旨は掴めたが、棒読みだからよくわからなかった。
- 市民目線での説明でわかりやすかった。
- 小グループでの話し合いのほうが生の声が届くのではないかと。一方的な説明で意見交換になっていない。
- 現場に来て経験すべし。
- 透明性のある議会を望みます。市長部局の方にも要望してほしい。

- 報告会の内容、説明をもっとわかりやすくしてほしいです。議員の活動、方針が市民にきちんと伝わっていないようです。報告会にもっと若い人が出席しやすいような工夫をしてほしいです。
- 参加者の人数が多くない理由を考えてください。参加しない市民が悪いというのではなく、市民をリードする議会であってほしいと思います。
- 行政についてのご意見番としてしっかりしてください。
- いつの場合も参加するように努力をしているが、いつもの場合の何となく良かったという感じはしない。参加する市民が本当に良かったと思えるような報告会であるようもう少し考えてほしい。
- 事前にテーマが出ているのなら議会の統一した意見を述べてほしい。
- 具体的な事項の説明がほしい。何を話してよいのか分からない。もう少し回を重ねて多くの人の話を聞いていきたい。

12月定例会開催

平成26年第9回高梁市議会（定例）は、12月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。

一般質問では、議員13名が34項目にわたって市政について質問しました。

議決結果

市長提出の議案30件の全てを承認、可決し、市民団体などからの3件の請願については2件を採択し、1件を継続審査としました。また、1件の陳情については不採択としました。さらに、議員発議の議案2件全てを可決しました。

討論では

○全ての議案に対して賛成

全ての議案に対して賛成の立場であるが、人員の問題では市としては職員を減らすばかりせず優秀な人材をもう少し採用してもよい。

○全ての議案に対して賛成

最近の高梁市の職員の対応に問題を感じている。これらには対応された職員個々の問題ではなく、高梁市の

「高梁市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」「高梁市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」

○議案に反対

国が少子化と待機児童の解消として教育と保育という成り立ちの違うものを無理やり一緒にした。子どもの教育・保育を受ける権利や子育てプログラムに問題が起きる。また利用料など保護者負担がふえる問題もあり反対する。

○議案に賛成

就学前児童にひとしく教育を施し、また同じサービスを受ける市民間の負担を公平にするという趣旨であり賛成する。

「一般会計補正予算（第5号）」

○議案に反対

「賞賜金」の扱いに問題がある。県から頑張る学校応援事業という制度に基づき、高梁市では2校の表彰があり大変喜ばしいことである。しかし、該当校に賞賜金を出すことは、子供にお金を目的に競わせることになり、児童教育にそぐわず反対する。

○議案に賛成

アベノミクスによりデフレ脱却とされているが、高梁市では経済・消費拡大は感じられない。例えば栄町の商店街では、一時期は80人の会員が現在約20名に減員している。この条例をもとに市内の消費拡大につなげていただきたい。

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書」

（採択）

○請願に賛成

全国にはB型、C型合わせて患者は44万人以上と推計されている。いまだ解決できない問題もあり、医療費助成制度の創設など事態に応じた障害者認定制度の運用を求め採択すべき。

「年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願」

（継続審査）

○請願に賛成

年金受給者の多くは低年金で消費税の引上げや物価上昇などで毎日の暮らしは厳しさが増している。年金削減の取りやめと、最低保障のための調査研究を行うこととして継続審査に賛成する。

「新しい高梁中央図書館の機能の充実・発展と市が直接管理運営することを求める陳情」（不採択）

○陳情に反対

執行部や教育委員会は基本構想・基本計画に沿って進めることを表明し、教育委員会ではこの陳情は全会一致で否決された。また民間委託が営利優先で自治体直営だから良いという単純なものではなく、民間委託でも自治体や教育委員会が運営に参画し、職員教育の充実や市民活動も取り入れられる。しかし、公立図書館は公共性や継続性が求められ、建設、運営に多額の税金が投入される。十分な説明と合意形成が必要である。

○陳情に賛成

新しい図書館については多くの異論があり、署名も約1300筆が寄せられている。また指定管理先のCCCの提案は、基本計画に示されている図書館の機能が満たされておらず、新しいサービス提供は直営でも可能である。また指定管理料が1億5000万円と高額であり、直営なら無用の消費税1200万円が上乗せされる。この理由から採択を

求める。

○陳情に賛成

図書館と複合施設については、執行部の計画にも不明確な点が多々見受けられ、多くの意見も交わされている。委員会では「継続審査を求める動議」が可否同数で委員長裁決となり、本会議では「委員会への差し戻しの動議が提出される」など、賛成・反対という二元論でなく、賛成を見据えた議論や判断が求められる。現在の状況をいま一度整理し、議論を深めるため採択を求める。

請願・陳情

次の請願を採択し、関係機関に意見書を提出しました。

○ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書

○少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年政府予算に係る意見書採択の要請について

12月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田好	小林	柳井	川上修	長江	植田	川上博	宮田公	大月	妹尾	難波		
高梁市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
高梁市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成26年度高梁市一般会計補正予算（第5号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
新しい高梁中央図書館の機能の充実・発展と市が直接管理運営することを求める陳情	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

◎ 他の議案は全会一致で承認、可決しました。



落合学童保育の様子

「高梁市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

○議案に賛成

今回の改正について総務文教委員会で「全ての職員の給与が上がるのか」との質問に対し「全ての職員に影響がある」という説明を受けたが、時給1000円の人は引上げされていない。不安定で低賃金の職員こそ賃上げが必要である。また合併時の各自自治体の賃金格差もいまだある。今後の解決に努力を求める。

Q. 「まち・ひと・しごと創生法」を活用し、高梁市独自の戦略策定を！

A. 『新総合計画後期基本計画』の中に盛り込んでいく



●市制発足10周年、これからの高梁市について

少子高齢化・人口減少対策について

森田 「まち・ひと・しごと創生法」の制定を受け、少子高齢化・人口減少において、20年先を走ると言われる本市として、高梁市独自の「創生戦略」を立てるべきではないか。

市長 市独自の戦略を打ち出さないといけないと考えている。総合計画、後期基本計画の中で方向性を打ち出し、国に対して市独自の総合戦略を示したい。

森田 具体的戦略はあるのか。
市長 若者向け住宅整備、安心して子供を産み育てることができ環境づくり、高齢化の進展を見越した地域医療、在宅での支援制度の充実が課題だ。また、女性が元気でないと地域は元気にならない。

い。女性を支える施策を盛り込みたい。

■高梁方式の農業再生について

森田 国が示している農家の高齢化、耕作放棄地解消対策として掲げている各種施策は、農業環境の厳しい本市においては制度活用が難しい。本市独自の農業再生策を考えてはどうか。

産業経済部長 農業、農村を守っていくというのは、市政としての根幹であると考えている。農地中間管理機構による管理事業が今年度からスタートしている。管理機構を活用しての本市農業は、条件整備の上で厳しい環境にはあるが、今後の農業にとっては多くのメリットもある。本市として支援を十分に行っていくきたい。

Q. 未収金対策にどう取り組むのか

A. 滞納整理対策本部を設置する



●農地中間管理機構(農地集積バンク)について
●未収金対策について

■農地中間管理機構について

内田 本市は農地中間管理機構からの業務委託を受けていなかったが、なぜ取り組みが遅れたのか。

産業経済部長 本市の農地は中山間地域に位置しており、併せて広大な農地も少なく、本年度の活用は少ないと考え、単市での対応を考えていた。本年度市内において需要が発生したので今回取り組みこととした。今後、本制度について十分に説明をして利活用を進めていきたい。

■未収金対策について

内田 本市の未収金は平成25年度決算で5億5千万円を超えている。各会計の未収金はいくらになるのか。

総務部長 一般会計分2億3167万円。特別会計分2億9678

万円。企業会計が2244万円で、平成23年度に比べ、3549万円ふえている。

内田 市の債権について法令に基づいた適正な管理と回収の強化を進めているとしているが、具体的にどのような取り組みをするのか。

総務部長 従来は担当課がそれぞれ滞納徴収に当たっていたが、全庁的に取り組むために、市税滞納整理対策本部を設置する。そして、債権管理を一体的に扱う専門部署を設ける。また、債権管理条例の制定も視野に入れ回収強化に取り組む。

Q. 通学路の歩道整備を早期に

A. 解決に向けて努力する



●通学路の安全対策について
●ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会の検証について
●地域の草刈り活動への助成について

■通学路の安全対策について

三村 国道313号の歩道整備が津川町八川地内で12年間中断している。工事が長期化するのであれば暫定措置をとるべきではないか。

産業経済部長 地権者と交渉しているが進展していない。今後解決に向けて努力する。暫定措置は県に願う。

■ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会の検証について

三村 4回目の大会が終わったがどのように検証されたのか。
教育次長 全市を巻き込んだスポーツイベントとして本市の経済に影響を与えていると考えている。

三村 多くの参加者があったが、市内での宿泊が少ないのではない

か。宿泊施設が足りなければワンルームマンションの活用や民泊を考えてはどうか。

教育次長 80名を超える宿泊があったが、まだ宿泊施設に空きがあった。今後、ワンルームマンションの活用等も含め検討したい。

■草刈り活動への助成について

三村 道路沿いの草が伸び放題で過疎に拍車をかけている。また草刈りは地域のコミュニティ維持にも役立つ。草刈り業務の補助制度を拡充してもらいたい。

市長 財源も含めて単価の見直しを検討し、地域の皆さんの努力が報われるようにしたい。
三村 県道の草刈りも要望してほしい。
市長 県と市が一体的に取り組めるよう県に申し入れをする。

Q. 本年産米価の暴落対策を求め

A. 市独自の価格補てん対策はできません



●持続的な居住環境に欠かせない中山間地域の水田農業を守ることについて
●小規模企業振興基本法の活用で小規模企業の経営向上を進めることについて
●市営住宅の入居資格について
●高校生バス路線等通学支援事業の拡充について
●選挙の投票率向上対策について

難波 中山間地域の水田農業を守ることとなる、本年産米価の暴落対策を求め。

産業経済部長 米価が下落していることは認識している。国が所得補償的な制度をたくさん用意している。経営悪化、耕作放棄地対策として市も農業者の指導を行う。

難波 政府に対して米価暴落緊急対策を行うように求めよ。

産業経済部長 米価は需要と供給で決まると認識している。水田の多面的機能に着目した所得補償制度も充実してきており、効果を見極め対応する。

難波 市場任せでは農業は守れない。市独自の価格保障制度を創設し、農家の後継者が地域に根付くようにすること。
産業経済部長 米作のみに絞った

所得補償制度は考えていない。

難波 市営住宅の入居要件の「市税完納」条項の削除と、住宅間の住みかえができるよう求める。
産業経済部長 「市税完納」条項は削除できない。住みかえについては担当課へ相談を願う。

難波 高校生バス路線等通学支援事業の拡大を求め。定期券代金の補助率拡大と、市外へ電車で通う場合も同様の支援を求め。

市民生活部長 通学支援制度は好評である。現制度はバス通学に対するものであり、ご理解を願う。

難波 選挙における投票所への「送迎バス」の運行で投票率の向上を図れないか。
副市長 公平、公正の立場から困難である。

Q. 佐与谷産廃処分場の許可申請に対する市の対応は？

A. 県知事に再度申し入れる



ここを聞きました

- 鳥獣被害防止について
- 産業廃棄物最終処分場について

宮田 佐与谷川上流に産廃処分場を計画した業者は、平成26年9月22日に産業廃棄物処理施設設置許可申請書を岡山県に提出している。県は法に基づき審査しており、高梁市にも意見照会を行っているが、どのような意見を提出したのか。

市長 住民の生活が脅かされる恐れのある施設の建設には、反対であるとの意見を提出している。

宮田 下流住民は1万400名分の反対署名と、意見書を提出している。仮に建設許可が出たならば、法廷で争う決意を固めている。市にも取り組みの強化を求める。
市長 改めて、知事に申し入れをする。

野猿の対策について
宮田 臥牛山の猿は、市が昭和30

年から餌づけし、臥牛山自然動物園として開園したが、平成3年末に閉園した。この頃から猿害が広範囲に発生するようになっていくが、猿の生息数はどれくらいか。
教育次長 教育委員会管理の臥牛山に生息する猿は、本群が約140頭、本群から分派した猿が約40頭、辻巻群が約60頭である。
産業経済部長 農林課が担当している猿は約300頭前後である。

宮田 野猿による農作物への被害が拡大している。以前は相当数捕獲した実績もある。個体数の調整が必要ではないか。
教育次長 保護管理計画の中で対応していく。また、猿の監視員をふやすなど被害対策を強化していく計画である。

Q. 業者を特定して指定管理、おかしくないか？

A. 政策、管理運営の面から特定させていただく



ここを聞きました

- 総合計画と市長マニフェストについて
- 図書館を核とした複合施設の建設をめぐる議論のあり方について

宮田 『高梁市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例』をどう解釈しているのか。

政策監 一般的に公募とするというのが本市の手続のあり方というふうに理解している。

宮田 この条例には、「指定管理者を指定しようとするときは、特別な場合を除き公募するものとする

○高梁市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例(抜粋)

第2条 市長は、指定管理者を指定しようとするときは、特別な場合を除き公募するものとする。

第4条 市長は、前条の規定による申請があったときは、次の各号のいずれにも該当するものうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

なお一層の市民への説明責任が求められています。

Q. CCCの図書館の指定管理の実績と公共施設としての安定性・継続性について

A. 従来の業務に加えて、これからの図書館には、空間の演出力や企画力、人を集める魅力が必要と考える



ここを聞きました

- 高梁市新総合計画の後期基本計画における基本的方向性と経済構造分析について
- 新中央図書館を核とする駅前複合施設の運営と周辺施設整備におけるその意義と経済振興について

駅前複合施設と指定管理について
大森 指定管理における複合施設(公共施設)の安定した経営(コストを意識した経営)利益を優先した経営)と公共サービスの充実(福祉の充実・無料サービスの増はコストアップになる)はトレード・オフの関係である。「ゆ・ら・ら」での経験で学んだことを踏まえて新中央図書館・複合施設の指定管理について聞く。

市長 基本協定締結の際には、その部分をしっかりと協議していく。それがこれまでで、一番できていなかった点かもしれないので、しっかりとやりたい。

大森 駅前再開発をどのような地域再生や文化の拠点性、地域創生、新たな創造につなげていくのか。その戦略、仕掛けを聞く。

市長 観光客も含めて街の中心へ人が集まるように考えている。それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりをしていきたい。

後期基本計画の基本的方向性と経済構造分析について
大森 大幅な人口減少は避けられない。地域の自立・持続可能な社会の構築にはそれぞれの地域の特性を生かした高梁版コンパクトシティ(希望ある縮小戦略)、ダイバーシティの構築が必要。それにはまず地域の経済構造分析と独自の経済成長戦略が必要ではないか。それが地方創生、地域の自立につながるのではないのか。

市長 十分考慮しながら、しっかりとした方向性を出して行きたい。

Q. 駅前複合施設(図書館)建設は市民合意がされないまま進められている

A. 説明不足があったかもしれないが、進めていく



ここを聞きました

- 市長の政治姿勢について

妹尾 なぜ図書館の建設位置について、建設費等、十分な説明もないうまま一足飛びに駅前図書館としたのか。
教育次長 建設費の比較はしていないが、人が集まりやすい等、総合的に判断して駅前に決めた。

妹尾 CCCとの関係はどのようなにして始まったのか。
政策監 平成25年12月に名前は言えないがある人を通じて紹介があり、平成26年4月に社長が来られて提案をいただいた。

妹尾 指定管理に出す場合、今までは公募、審査(審査委員会)、決定という手順を踏んできたが、今回はなぜCCC1社だけで進めているのか。行政手続きに問題があるのではないか。(回答無し)

妹尾 指定管理料、年間1億5千万円を市民一人あたりで計算すると年間4500円となる。全国平均では1500円だが、市民負担を強いる図書館の民営化と理解する。
妹尾 現在進められている駅前複合施設(図書館)は高梁市にふさわしくない計画だ。

市長 消滅自治体にならないために必要だ。
妹尾 「ゆ・ら・ら」の補助金返還には政治責任があるのではないのか。

政策監 政治責任はないと考えている。

妹尾 市長のスピード違反事件について市民への説明、謝罪は十分できているのか。

市長 十分だと考えている。

Q. 新図書館指定管理の予算とサービスに関するメリットは破綻しているのではないかと

A. 細かな積み上げはしてないがメリットはある



- ここを聞きました **石部 誠**
- 新図書館について
 - 国民健康保険について
 - 幼保一体化について
 - 高梁市新総合計画後期基本計画について

石部 新図書館は、今まで進めてきた中央図書館基本構想に合致しているのか。

教育次長 当然、担保されている。CCCのノウハウを生かした図書館をつくりたい。

石部 新図書館の新しい機能と特徴、目標は何か。

教育次長 開館時間と日数の延長、民間のノウハウを生かした新事業、教育委員会と共催の事業、駅前の動線を生かした利用者増を考えている。目標は貸出冊数を市民一人当たり2.2冊から10冊に引き上げたい。

石部 新しい自主事業とは何か。
教育次長 新事業計画はまだないが、新しい検索システムや、作家を招いたり、地域ボランティアの連携で子供向けの事業の拡大など

を考えている。
石部 直営と指定管理のメリット、デメリットは何か。

教育次長 今ある機能は引き継ぐ。指定管理を行えば費用対効果やサービスの向上が見込まれる。

石部 サービスの向上は直営でもできる。費用は指定管理の1億5000万円と直営の差は1000万円でありほとんど変わらない。新しい事業を行えば管理料は増額するのではないかと。また指定管理は別に消費税1000万円が必要となり無駄ではないか。

教育次長 新しい事業がふえれば応分の負担がふえる。消費税も必要だ。協定を結ぶ中で検討する。
教育長 CCCのノウハウを生かし、良い図書館ができたといわれよう頑張りたい。

Q. 県立高等学校存続に向けた取り組みは

A. 協議会を設置し県に要望活動を行っている



- ここを聞きました **石田 芳生**
- 商工業振興施策について
 - 子ども・子育て支援新制度のもとでの就学前児童教育・保育について
 - 県立高等学校存続に向けての取り組みについて

石田 地元企業の事業継続や拡大に向けてどのような取り組みをしているのか。

産業経済部長 定期的に市内企業との懇談会や各企業に向いて相談を受け、アフターフォローに努めている。関係諸団体との情報交換、空き店舗対策などの企業支援の他、市内の需要喚起にも努めている。市内発注や地元産品の活用については、市役所はもちろん民間業者にもお願いしている。

石田 保育園、こども園、また小規模の園の子供も、全て等しく教育を受けることができるのか。
健康福祉部長 就学前教育保育課程に基づき行う。幼稚園以外の園の職員にも教育委員会の研修を

石田 急激な少子化により市内の県立高等学校の存続が危惧されているがどのように取り組むのか。

教育長 身近に多様な学科があることは地域活性化の観点からも存在意義が大きい。すでに協議会を設置しており、要望活動も

行っている。
健康福祉部長 正職員増員や潜在的保育士の掘り起こしにより、処遇改善を図りたい。
県立高等学校存続に向けての取り組み

Q. 市有財産の処分、活用の方角性を問う

A. 優先順位をつけ、解体、売却を検討している



- ここを聞きました **黒川 康司**
- 行財政改革について
 - 成羽病院について
 - 定住対策について

黒川 市有財産で使用されなくなった建物の処分、活用について方向性を問う。
総務部長 公共施設の見直しについては、210施設の方角性と見直しを行っている。平成21年度から現在までに解体を6件実施、本年度2件を予定している。危険な建物については、現在11件をリストアップしており、優先順位の中で解体及び売却を検討している。

黒川 成羽病院の電子カルテ導入について、費用対効果と課題について問う。
病院事務長 1億9600万円を整備し5月より運用を開始している。これにより診療情報の一元化や投葉の重複などが回避できる。

黒川 成羽病院の電子カルテ導入について、費用対効果と課題について問う。

黒川 成羽病院の電子カルテ導入について、費用対効果と課題について問う。

Q. 交通政策について

A. 公共交通会議の中で議論していく



- ここを聞きました **植田 二郎**
- 公共交通の取り組みについて
 - 農業政策について
 - 土木工事促進について

植田 交通政策基本法には、国・自治体・事業者の役割が明記されているが、本市の交通政策をどう考えるのか。

市長 市民が不自由なく、市内外への移動ができることと考える。
植田 福祉バス等の運行については地域住民の意見を取り入れ考えてほしい。また、運行については、安全性を重視し対応されたい。

市民生活部長 公共交通会議の中で議論していきたい。運行については地域としっかり協議したい。
植田 公共交通専門部署の設置はできないか。

市長 まだ検討できていない。
農業政策について
植田 基幹産業としての農業をどのように位置づけているのか。

産業経済部長 農業生産額だけでなく、景観・環境・農村文化などの多面的機能を有していると考え

植田 農村を「土台づくり」と位置づけ営農支援に取り組むべきだ。
産業経済部長 農業支援については、国・県の施策を十二分に活用し、それに市独自のきめ細やかな政策を絡めていく。そして持続可能な農業、農村を実現する。

土木工事促進について
植田 想定外の自然災害が多発する中で、災害に強い郷土づくりに取り組んでほしい。
市長 市民が、安心して暮らせる災害対策に取り組んでいきたい。

また他の医療機関との情報共有を行うことにより、患者に対して適切な診断が可能となる。デメリットについては、コスト、システムウイルスによる情報漏洩、パソコンへの入力作業などがある。

黒川 診察終了後、迅速に事務処理ができるよう努力してほしい。
定住対策について
黒川 島根県美郷町では、若者の定住促進のため、住宅整備をし、家賃3万円を25年経過した世帯には、土地と建物を無償譲渡している。住宅問題を考えるとき、小学校の統合問題などの諸条件も考慮に入れて、地域がこれ以上衰退しない方向で検討してほしい。

市長 若者向けの住宅整備は、非常に重要だと考えているので、提案を参考とさせていただきます。

Q. 地域の特産品をPRするイベントの開催を

A. ぜひやってみたいと考えている



ここを聞きました

- 駅前複合施設について
- 定住対策について
- 産業振興について

■複合施設建設を
石井 駅前複合施設は、高梁市街地の拠点として必要なものだと思う。図書館周辺部の振興計画について具体的に問う。

市長 今後5年間の後期基本計画を踏まえた上で、回遊性の問題を念頭に置いて考えたい。栄町商店街とは昨年から話をしており、行政として一緒にできることを話し合っていきたい。車の誘導や病院との連携も重要な視点だと思っている。

石井 図書館建設について市民の合意形成が不十分に思える。計画の進め方を見直すことはできないか。

政策監 都市のランドデザインは、ワークショップ等を開催しながら進めてきている。市民

にしつかりと情報を提供していくことは行政として必要だと思っている。

高梁市を統一したイベントを市長のリーダーシップで

石井 高梁市の各地域を横断した形のイベントを市長が主導して開催できないか。

市長 何か1つきっかけをつくらないと現状が変わらない。そのきっかけ作りのために私からも呼びかけていきたい。



複合施設に続く大屋根がよいよい形になってきた

総務文教委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算(第5号)」

委員 教育費の中の賞賜金について、具体的な用途はどうなるのか。

執行部 県の「頑張る学校応援事業」で、高梁小学校、高梁中学校に100万円の賞賜金を送るものである。県が示しているのは、設備や備品ではなく、教材の開発や先進校の視察、外部講師を招聘するなどに活用することとしている。

委員 社会教育総務費の賃金に130万円を追加しているが、内容はどのようなものか。

執行部 臥牛山の猿の管理人を6名から10名に増員するための補正である。

産業経済委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算(第5号)」

委員 都市街路事業費の工事請負費、東西連絡道付替工事費の追加について詳しい説明を求める。

執行部 この内訳はインフレスライドが5000万円、岩盤の露出による追加工事費が1900万円である。

委員 岩盤などは事前の調査でわかるのではないか。事業費の見込みが甘いのではないか。

執行部 この事業は国の制度事業を活用しているもので、県や国のチェックも入っている。事業を進めていけば、予見不可能な場合も当然出てくる。インフレスライドも、後年に出てきたものである。財源は、市民負担が少ないような形で手当てしている。

平成26年10月から新体制になりました(任期2年)

議長 倉野 嗣雄
副議長 川上 博司

常任委員会

※◎委員長 ○副委員長

総務文教委員会

◎川上修一 ○大森一生
 妹尾直言 川上博司 長江和幸
 石部 誠 石田芳生

産業経済委員会

◎内田大治 ○柳井正昭
 大月健一 植田二郎 倉野嗣雄
 石井聡美

市民生活委員会

◎宮田公人 ○宮田好夫
 難波英夫 小林重樹 森田仲一
 黒川康司 三村靖行

議会運営委員会

◎森田仲一 ○宮田好夫
 難波英夫 川上博司 宮田公人
 川上修一 内田大治

特別委員会

議会広報調査特別委員会

◎宮田公人 ○宮田好夫
 森田仲一 大森一生 石部 誠
 石田芳生 石井聡美

議会活性化特別委員会

◎森田仲一 ○宮田好夫
 宮田公人 大森一生 石部 誠
 石田芳生 石井聡美

高梁地域事務組合議会議員

宮田公人 柳井正昭 倉野嗣雄
 内田大治 宮田好夫

高梁市農業委員会委員

(議会推薦)
 大月健一 植田二郎

高梁市監査委員

小林重樹

市民生活委員会

「高梁市教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」

委員 この条例は、4月からスタートする幼保一元化に向けた整備だが、小規模な保育所、幼稚園は今後どのようになるのか。

執行部 改正の主旨は、保育機能の多様化により、市民の選択肢がふえるようにするもので、今あるものについては、現状維持で考えている。

「高梁市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」

委員 学童保育に関わる条例改正だが、どのように変更になるのか。

執行部 具体的には対象者が小学生となり、指導員は2人体制以上と規定されている。



高梁城南高等学校× 高梁市議会 コラボレート第4弾!



高梁市の代表的な神社のひとつとして、市民の崇敬を集めている和田町の八幡神社。今回の表紙を飾っていただいたのは、岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年生の宮田ゆきさんの作品です。制作上のポイントは、見たままの色の出し方。「神社の陰の所をくっきりと表現できたと思う」と話してくださいました。将来は広告関係の仕事に携わりたいという、ゆきさん。今年から部員数のふえた美術部でも活躍中とのこと。仲間との和を大切にしながら、夢に向かって歩みを進めてほしいと思います。

○議会の傍聴しませんか○

本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない議会や議員の生の活動がよくわかると思います。

気になるスポット

The spot
of
Takahashi

雲海の 波間に浮かぶ 松山城

竹田城と並んで、天空の城とうたわれる備中松山城。しかし、雲海の波間に浮かぶ天守を見られるチャンスはそう多くありません。今回の気になるスポット、実は2回目の紹介です。場所は松原町神原「松山城を望む見晴台」。備中松山城は遠望となりますが、このシーズンの日の出位置、雲海の変化は写真家の心を捉えて放しません。最近は、スマートフォンでも昔の携帯カメラ並みの撮影が可能とのこと。ちょっぴり早起きして見晴台を訪れてみませんか？ 素晴らしい風景に出会えるかもしれませんよ。



編集後記

昨年10月の議会改選で広報調査特別委員会も新たなメンバーでスタートを切ることとなりました。高梁市議会でも、ここ数年、議会の活性化や改革について取り組みを進めてまいりました。議会基本条例や議会報告会などルールの変更や新たな取り組みの重要性は言うまでもありませんが、市民の皆さんに、いかに情報を伝えていくかということも、議会の大きな使命と認識しています。編集子一同、わかりやすい紙面作りに向けて頑張りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(宮田公人)

編集
議会広報調査特別委員会

委員長 宮田 公人
副委員長 好夫
委員 森田 仲一
委員 大森 生一
委員 石田 誠
委員 石井 聡美

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎0866-21-0276